

6部

ご案内



今年度の『With』発行予定は『試験・スクーリング情報ブック2017』p. 4～5に記載のとおりです。p. 6～29のカレンダー記載の日程までに『With』が届かない場合は1週間以内に至急ご連絡をお願いいたします。

1 // 印刷物訂正のご案内・お詫び

3月発行の印刷物の誤植・変更点は下記のとおりです。大変申し訳ございません。訂正してご利用ください。

●『試験・スクーリング情報ブック2017』

ページ数	変更事項	変更内容
p. 27	入試のため国見C入校 禁止日程	(誤) 2/1～2/4・2/17～2/19 (正) 2/2～2/5・2/18～2/20
p. 45	「特講（防災士研修講 座）」開講日	(誤) 2017年9/10・10/1 (正) 2017年9/30・10/1
		(誤) 2018年3/4・5 (正) 2018年3/3・4
p. 73	「カウンセリング演習 II」スクーリング単位	(誤) 空欄 (正) 1
p. 83	「ライフサイクルと福 祉心理学」開講予定	(誤) 未記載 (正) オンデマンド（3部参照） コマ数：8 受講料：7000円

●『学習の手引き2017版』（2017年度入学者のみ所持）

p. 143 福祉心理士に関する科目 心理学関係科目 「心理療法」「発達心理」間の太線は不要な罫線です。本学の科目名「臨床心理学」～「老年心理学」の間から4科目12単位以上履修となります。

2 新入生の方へ

新入生の方へのご案内が前号の『With』122号6部p. 32～35に記載されています。まだお読みでない方は、是非ご一読ください。

5月の学習ガイダンスは5/6札幌・5/13盛岡・5/14青森で開催、スクーリング受講者を主たる対象とするガイダンス（受講者でなくても参加は可能）を5/3・5/20仙台、5/6東京・札幌で開催します。『学習の手引き』を読んで不明な点が多い方はご参加ください。

出席できない方でご質問のある方は、メール・電話などで遠慮なくお問い合わせください。

●Web上で視聴する学習ガイダンス

通信教育部ホームページ上部の「学習ガイダンス」をクリックすると、「動画版 学習ガイダンス」にリンクするページが表示されます。昨年度版のため『学習の手引き』の参照章など異なる部分もありますが、よろしければご利用ください。

3 本年3月時点の在学生の方へ

●2017年度の開始にあたって

2017年度開始にあたっての変更・留意点は、3/20発行の『試験・スクーリング情報ブック2017』p. 30～35で必ずご確認ください。

10月生や休学中の方も含め、『試験・スクーリング情報ブック2017』『レポート課題集A（社福・精保指定科目編）2017』『B（共通基礎・福祉専門編）2017』『C（心理専門編）2017』の4冊は皆さんにお送りしています。

未着の方は至急お申し出ください。

●2017年度開始にあたっての発送物

『With』122号 p. 38～39に記載があります。ご確認いただき、未着の方は5/10までにご連絡ください。

●『レポート課題集D（特別支援編）2017』のPDFが閲覧可能です

掲載されている科目は2014年度までの入学者と、2015年度2・3年次編入学者・科目等履修生、2016年度4月生3年次編入学者のみが履修できます。なお、冊子版『レポート課題集D（特別支援編）2015』に記載の課題も有効です。

4 スクーリング追加情報

●仙台会場 7/9までのスクーリングで国見キャンパスにて開講予定の科目は下記のとおりです。

特別支援教育支援員概論 6/3・4 国見キャンパス1号館

レクリエーション実技 7/7～9 国見キャンパスH-ONE館

●仙台市内 宿泊施設の混雑について

週末の宿はイベントや観光により混雑傾向にあり、特にインターハイ等のある7～8月は顕著です。スクーリング等で宿泊を必要とする方は、『試験・スクーリング情報ブック2017』p. 230～240も参考にして、早めの予約をお勧めします。

●スクーリング中の写真撮影について（主として仙台会場）

p. 49に記載の広報活動の一環として、スクーリング風景の写真撮影を行い、通信教育部の募集要項、および公式Twitterやfacebookなどで紹

介させていただくことになりました。

撮影にあたっては、口頭で許可をとらせていただきますが、何かございましたら遠慮なくお申出ください。

主として教員を撮影しますが、教室前方にご着席の方の後姿が写ることがあります（演習・実習指導・実験科目などでは正面から写る場合もあります）。

また、オンデマンド・スクーリング実施のために録画する科目については、『試験・スクーリング情報ブック2017』 p. 62～63の留意点をご確認のうえ、受講してください。

●「特講（子どもの貧困）」スクーリング日程決定

2018年2／17・18に開講（講義概要は『レポート課題集B（共通基礎・福祉専門編）2017』 p. 85～86）。

※本科目のみを追加履修登録希望の4月生は、6月・11月の追加履修登録期間において事務手数料無料での追加履修登録が可能です（超過履修費や科目等履修生追加授業料については必要です）。10月生の受講希望者は、新年度の履修登録（今年7月以降）の際に履修登録してください。

●「社会福祉援助技術演習A」スクーリング受講後のレポート提出期間

6～7月の「社会福祉援助技術演習A」について、スクーリング受講後に提出するレポートの提出期間が設定される予定です。詳細は「演習A」受講者にご案内します。過去の受講者には次号以降の『With』でご案内します。

●スクーリング講義内容におけるご質問

通常スクーリングの内容における質問は、できる限り当該スクーリング

期間中に直接教員へしていただくようお願いいたします。ただし、教員の休憩時間の確保にもご配慮をお願いいたします。

受講後、『学習の手引き』6章V（2017版 p. 171）「担当教員への質問」の方法でも可能ですが、教員の委嘱期間などの事情もあり、講義終了後2週間以内での質問にご協力ください。

5 スクーリング受講者専用 「別レポート」のWeb解答のお願い

●スクーリング受講者専用「別レポート」の制度・実施科目

『レポート課題集A（社福・精保指定科目編）2017』 p. 14～15参照。

●Web版「別レポート」解答のお願い

会場スクーリングの「別レポート」は、多くの科目でWeb版（「TFUオンデマンド」上で解答する形式）と、郵送版（会場で配付されるものを郵送で提出する形式）のいずれかを選択できますが、**可能であればWeb版で解答してください**（利用方法：『学習の手引き』2017版5章1節（2017版以外は10章））。

期限内ならば何度でもやり直せるため勉強にもなります。ただし、解答期限が受講後約2週間後と、郵送版より短いので、ご注意ください。

●郵送版「別レポート」の配付方法の変更予定

6月開講のスクーリングより、配付はレポート用紙（A4用紙）部分のみとなるため、以下をご留意ください。

- ・提出の際は、自身で所有のレポート提出台紙に貼り付けてください。
- ・同じ科目でも、別レポートと通常レポートは、別々のレポート提出台紙に貼り付けてください。
- ・レポート提出台紙が不足した場合は、『学習の手引き』巻末様式10を使用してお申し込みください。

●オンデマンド・スクーリングの「別レポート」

オンデマンド・スクーリングの「別レポート」は、一部科目を除きWeb版となります。講義視聴とは別のアイコンですので、ご確認のうえ解答してください。

6 レポート学習等にかかわる 教員への質問のご案内

●社会福祉系科目

担当教員 佐藤博彦（助教） 小野芳秀（特任准教授）

相談場所 仙台駅東口キャンパス 3階通信教育部事務室

相談可能時間 希望日時を複数お知らせいただき、調整いたします。

相談可能科目 「社会福祉援助技術総論」「高齢者福祉論」「介護概論」「保健医療サービス論」「精神保健福祉の理論（精神保健福祉論Ⅰ）」「精神保健福祉のサービス（精神保健福祉論Ⅱ）」「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ（精神保健福祉援助技術総論）」および実習相談

●福祉心理系科目

担当教員 山口奈緒美（講師）

相談場所 国見キャンパス 1号館5階（エレベータを降りて廊下を左側へ・左側にある山口研究室）

相談可能時間 月～土曜日で、希望日時をいくつかお知らせいただき調整いたします。

相談可能科目 「心理学概論」「心理学研究法Ⅰ」「環境心理学」「社会心理学」「福祉心理学」のうちスクーリング受講済の科目

●申込方法 「教員への質問 予約申込」と明記し、①学籍番号、②氏名、③希望日・時間（3つ以上）、④希望科目を書面（メール（uc@

tfu-mail.tfu.ac.jp)、FAX022-233-2212、郵送)で希望日の1週間前までに到着するようにお申込みください。

●**持ち物** 筆記用具、教科書・レポート課題集、作成中のレポート(任意)

●**申込・参加上の留意点** 下記のことをご了解の上、お申込みください。

- (1) 科目の内容について相談にのるものです。個人的な問題や職場等の事例の相談にのることはできません。また、レポートの正解そのものを教えるものではありません。
- (2) 必ず相談日時確定の連絡を受理してから参加してください。
- (3) スクーリング受講済など学習を進めている方を対象とします。初学者向けのレポートの書き方の解説は『学習の手引き』6章(2017版4章1節)を参照するか、ホームページ上の「動画版 ガイダンス」をご利用ください。なお、教員への質問は『学習の手引き』記載の要領でメールや郵送でも可能です。

7/ メールアドレス登録のお願い

通信教育部では、在宅で学習している皆さんに少しでも大学を身近なものに感じていただくために、メール配信サービスを実施しています。

現時点でメール未着の方は下記のいずれかでご登録をお願いします。

※とくにオンデマンド・スクーリング利用(予定)者で一括送信メールを受理していない方は、必ず登録してください。

【「TFUオンデマンド」が利用可能な方】『学習の手引き』2017版5章1節(2017版以外は10章)「メールアドレス登録」をご確認ください。

【「TFUオンデマンド」が利用できない方】メールアドレス登録希望の旨と、学籍番号・氏名・メールアドレスを、uc@tfu-mail.tfu.ac.jp宛にお送りください。

●ご注意

- (1) 一括送信メールは4月新入生をはじめ、在学生の方にも本冊子到着の頃に送信しています。すでにメールが届いている方は登録済です。
- (2) 携帯電話の「ドメイン指定受信機能」を利用されている方は「@tfu-mail.tfu.ac.jp」を受信できるように設定してください。

8 教科書発送の遅れと現状について

今春の履修登録で教科書が後送になった可能性がある科目と、現在の状況は下記のとおりです。後送になった方で発送済教科書が未着の場合は至急お申し出ください。

発達障害者の心理・発達障害者の理解と支援 2/19～28履修者 3/10
発送済

言語障害教育 2/28履修者 3/10発送済

知的障害者の心理 2/19～3/2履修者 3/22発送済

教職論（特例）『④ポケット教育小六法2017』 2/19～3/9履修者 3
/22発送済

老年心理学『②介護福祉士養成テキストブック11 認知症の理解』 2/
19～3/27履修者 4/4発送済

精神科リハビリテーション学 3/26～30履修者 4/4発送済

発達障害教育総論 3/21履修者 4/4発送済

医療・福祉経済論 4/4～9履修者 4月12日発送済

保健医療サービス論 4/9履修者 4月12日発送済

生涯発達心理学 4/9履修者 4月12日発送済

スポーツの心理学 4/1～9履修者 4/14発送済

老年心理学（2冊とも） 4/6～9履修者 4/14発送済

知的障害者の心理 4 / 9履修者 4 / 21発送済

社会福祉法制 『①社会福祉法講義ノート (2017年版)』 2 / 19以降履修者
発送時期未定 (完成次第送付予定)

● 「発達障害教育総論」の履修登録と教科書配本について

「発達障害教育総論」の教科書である『軽度発達障害の教育－LD・ADHD』について、入手困難となってしまいました。大変申し訳ございません。そのため、今後は古書での配本となりますことをご容赦ください。このたびはご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

9 / レポート添削の状況について

4 / 20現在、3 / 16までに提出いただいたレポートで未返却の科目は下記のとおりです。大変申し訳ございませんが、添削終了までいましばらくお待ちください。

「児童・家庭福祉論」「精神保健福祉援助実習指導A」「社会心理学」

※「社会福祉援助技術演習A」など演習・実習指導科目の一部レポートは、提出後すぐには履修状況票に反映されません。スクーリング申込締切日後にクラス担当教員が決まってからの受付となります。

10 試験結果ほか発送状況

※通信教育部ホームページ「新着情報」でもご案内しています。

冬期スクーリングⅣ（2/25～3/12）試験結果 3/24発送済

春期スクーリングⅠ（3/18～27）試験結果 4/14発送済

※「（障害者）教育実習の事前指導」「教育実習の事前指導」は除く。

2月科目修了試験結果 3/25発送済

5月科目修了試験受験許可証 5/2 発送予定

履修状況票（4月生正科生・進級者のみ） 4/20発送済

※履修状況票の見方『学習の手引き』6章「履修状況の通知」参照
進級者への履修希望科目登録用紙・学生証有効期限シール 学費納入後10
日以内

新入生学生証・氏名バーコード・履修状況票Web閲覧システムパスワード

（1～4期入学者で学費納入者） 発送済

（5～6期入学者で学費納入者） 学費納入後14日以内

※4/26以降の入金者はGWをまたぐため発送が遅くなります。

春期スクーリングⅠまでの事前連絡欠席者への受講料返金（4/20まで到着分） 4/20返金済

11 奨学金のご案内

「日本学生支援機構奨学金」（夏期スクーリング7日間以上受講者）・「東北福祉大学通信教育部奨学金」（在籍1年以上の成績優秀な4月生）の申

請を下記のとおり受け付けます。『学習の手引き』11章V（2017版は9章V）をよく読み、応募条件にご自身が該当するかどうかをご確認のうえお申込みください。希望者は個別にお問合せください。

●申込締切 5 / 20必着

●申込方法 『学習の手引き』巻末様式16または様式17を郵送

●結果通知予定 7 / 1 予定

12 通信教育部の人事異動について

4月の人事異動において、通信教育部副部長に三浦剛教授、佐藤俊人准教授、広浦幸一准教授が就任いたしました。

なお、1974（昭和49）年4月より43年間も東北福祉大学で教鞭をとられた木村進先生が3月末で定年退職されました。通信教育部では引き続きあと2年間「障害児の心理」などをご担当いただきます。

「スポーツ（バーンゴルフ）」担当の小野寺浩三先生、教育実習関連科目担当の吉井宏先生、「聴覚障害教育」担当の菅井邦明先生も定年退職されました。

13 スクーリング・アンケートについて

スクーリング時に授業アンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。アンケートは担当教員にお渡しし、次回の講義に向けて改善に役立てていただいています。

2016年度のアンケート結果は、各科目の満足度などについて「TFUオンデマンド」の「mBook」欄、および通信教育部事務室で閲覧可能です。

2016年度の講義の感想（自由記述）は通信教育部ホームページ「学生の声」欄で公開いたしました。2017年度のもの、これまでと同様、『With』やTwitter、facebookで随時紹介させていただきます。

14 学費の分割納入について

年間の学費の分割納入を希望する場合、「オリコの学費サポートプラン」の利用が可能です（『試験・スクーリング情報ブック2017』 p. 33参照）。

※有利子ですので利用される方は計画的に行ってください。

※「授業料・施設設備資金」にのみ利用できるもので、「スクーリング受講料」「実習費」などには利用できません。

15 3月卒業者・卒業証書授与式を行いました

3/17に2016年度卒業証書授与式を挙行了しました。

本年3月卒業者は、3/17付卒業者271名、3/31付卒業者10名、合計281名でした。内訳は下記のとおりです。

学科 社会福祉学科：226名 福祉心理学科：55名

性別 男：99名 女：182名

年代別 20歳代：94名 30歳代：59名 40歳代：60名

50歳代：48名 60歳代以上：19名 70代：1名

地域別 北海道：17名 青森県：10名 岩手県：28名 宮城県：56名

秋田県：9名 山形県：21名 福島県：21名 栃木県：8名

茨城県：3名 群馬県：1名 埼玉県：2名 千葉県：2名

東京都：14名 神奈川県：7名 新潟県：76名 その他6名

卒業学年 4年次：187名 5年次：48名 6年次：16名

7年次：12名 8年次：6名 9年次：5名 10年次：7名

入学年次別 1年次入学：45名 2年次編入学：1名

3年次編入学：235名

卒業まであきらめずに一步一步ご努力されたことと思います。また、最短修業年限で卒業の方が187名、10年次の方が7名おり、それぞれのお立場で皆様のご尽力に敬意を表します。在学生の皆さんも卒業をめざして頑張ってください。

3月卒業者からお寄せいただいたアンケート結果は、『With』や通信教育部ホームページなどで紹介いたします。



16 その他のご案内

(1) 心理学検定について

日本心理学諸学会連合が実施している「心理学検定」(特1級・1級・2級)が今年も8/20に仙台・東京・札幌をはじめ、全国14会場で開催されます。関心のある方は「心理学検定」のホームページ (<http://www.jupaken.jp/>) でご確認ください。問題集も販売されていますので、興味のある方はご参照ください。

(2) 仙台駅東口キャンパス TFUギャラリー ミニモリでの催し物

【浮世絵 ねこの世界展】

開催期間 2017. 4/28～6/4 毎週火曜日休館 (5/2は開館)

開館時間 平日11:00～18:00 土日祝10:00～17:00

入場料金 一般1,000円 高校・大学生700円・中学生以下無料

※割引料金はTBC事業部公式HPなどでご確認ください

問合せ先 河北新報社企画事業部 電話022-211-1332

東北放送事業部 電話022-227-2716

(3) 第三者評価について

大学は法令に従い7年以内に一度認証評価機関による「第三者評価」を受けることになっています。

本学は昨年度財団法人大学基準協会より書面審査・実地調査等の評価を受けて、協会の定める「大学基準に適合している」と認定されました。

(4) 自己点検評価について

自大学の行う自己点検評価において、「通信教育部・通信制大学院において定員未達成の学部・研究科がある」ことなどが指摘されているため、通信教育部では、今後これまで以上に広報活動にも力を入れていくことにしています。本冊子p.38～39記載のことをはじめ、今後、学生の方々をお願いすることも出てくると思いますが、可能な方は是非ご協力をよろしくお願いいたします。

(5) 郵便料金の改定について

6/1より、郵便料金が一部改定されます。ハガキの料金が52円から62円に引き上げられ、また定形外郵便物も大きさによって改定されますのでご注意ください。

卒業生アンケートより(4)

3月卒業生アンケートでいただいた回答から抜粋して掲載しました（p. 12、18、30にも掲載 今回は主に社会福祉学科の方のもです）。

●学んだ内容や得た資格を、現在どのように役立てていますか

- ・物事を主観的にとらえていましたが、自分の考えを少し離れ、様々な視点で考える習慣を行うことで、自然と前向きな思考ができるようになりました。
- ・物事そのものだけに目を奪われるのではなく、物事全体に目を向けることができるようになった。「白黒はっきりしない、答えのない答えも答えなんだ」と考えるようになった。
- ・仕事で日々高齢者とかかわっており、コミュニケーション等の部分で役に立っています。
- ・「社会福祉」の広さを知り、現在の障害・高齢に関わる業務の位置づけがわかった。
- ・PSWや社協の人など外部の多職種の方と話すことが多いが、対等に話せるようになった。また、理論立てて福祉分野の話ができるようになった。
- ・現在は母親を在宅介護中のために、すぐに就職などに結びつけられないのは残念です。しかし、社会福祉を学び、地域や社会資源に対する見方などで視野が広がったことは、これからの自分の生活や、人生に対する見通しに大いに影響を与えてくれています。
- ・通信教育部での学びを通じて、あらためて知ることが多かったです。4月から地域で「近所の高齢者の見守り」等のボランティアをはじめています。
- ・地域包括支援センターの「生活支援コーディネーター」として働いております。新しい職種であり、多くのコーディネーターが手探りの状態で実践を行っております。福祉大で得た知識・技術、特に質的研究・分析を活用し、地域アセスメントを行っております。
- ・現在「生活困窮者自立支援法」の事業で支援員をしています。新しい法律の中で前例がないことから、とても悩み支援に当たっていましたが、大学での学びを通して「ソーシャルな視点」を学び、少しずつですが、「生活困窮」とは何ぞやを理解し、自立支援をがんばっています。
- ・現在も医療機関に勤務しているが、精神障害に対する自己の偏見を自覚することで、より客観的に向き合えるようになってきていると感じている。
- ・現職である「社会福祉協議会」の業務全般（相談、調整）に、福祉の基礎を学び直すことで得た知識、理念が大変役立っています。